

ふみびと

第252号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

手紙の交流 人生を豊かに

当時を思いだす味

「懐かしい」という味。たまに感じたくなるそんな味。大人になって、子どもの頃に食べたことのないような美味しいものをたくさん知って、その都度感動するのですが、それでも忘れられない味というものがありません。例えばお袋の味だったり、昔給食で食べていたものだったり。「今まで食べたものの中で一番美味しいもの」ではなくても、あの頃は何か

気なく食べていたものでも、また食べたくなる。そんな「味」がきつと皆さんにもあるのではないのでしょうか。先日テレビで駄菓子の特集をしているのを観たとき、ふとそんな「味」を思い出しました。子どもの頃に、少ないお小遣いの中から厳選に厳選を重ねて選んで食べた駄菓子。決して満足するほどの量ではなく、あつという間に食べ終えてし



少ずつ生活が戻りつつある。ひたすら閉じこもっていた時期から気をつけながら日常を重ねていく段階になったようだ。ウィルスは歓迎できるものではないけれど、この緊急事態の間に、いつもは気づかなかつたものに気づいたという人もいるのではないだろうか。何気なく交わっていた換

非日常の中での気づき

文字でのやりとりの温かさに、改めて励まされた人も多いだろう。非日常の中で自分にとって何が大

切なにか実感した人も少なくないはずだ。これから手探りで日常を取り戻していくことになるのだろう。けれどもそれは以前と全く同じではなく、もつとよい日常にすることもできるはずだ。非日常の中での発見を手がかりに、以前よりも心地よい生活をつくりあげていけたらと思う。

まう「貴重」な一品は当然確かに特別な「味」でした。あれから大人になって、好きなだけ駄菓子を買い取るようになってしまったのも、あの頃の選ぶ楽しさをどこか求めているのかもしれない。これだけ新しい商品が出ては消えていく中で何十年も残っている駄菓子という「文化」

きつと駄菓子より美味しいものはたくさんあると思うのですが、他のお菓子や「スイーツ」と言われるものにも負けない、というより違った不思議な「味」があるような気がします。あの頃と変わらない味。あの頃に戻れる味。小銭を握りしめて買いに行ったあの頃の思い出も運んでくれる「味」は時間を経つほど特別な味になるのかもしれない。いつか掘り返してみたい。そんなタイムカプセルのように。

風にゆられて誰かに届け！ 風船便

いつでも誰でも参加できますが、風船便の受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務所の返信筒に納め、郵便局宛封下まで流します。



次回発送日

次回の発送日は6月15日(月)となります。送りたいお手紙がある場

新規ご入村者情報

この2か月、皆様にご協力頂き、新規ご入村者情報の紙面でのご提供を停止してりましたが、思いのほか会員様からオンラインで見られるからとの声が多かつたため、新規ご入村者情報をオンライン上からご覧いただく形とさせて頂きたく存じます。ただ、インターネット環境がないなど、会報をオンライン上で見られない方は個別にご相談ください。